

多磨駅周辺のまちづくりにおいて
イトーヨーカ堂と東京外国語大学が
協議する場を設定できないか

事業者は大学との協働で
地域貢献に努めるとしており
話し合いを行っているとしている



▲東京外国語大学(手前)と
大型商業施設建設予定地(奥)

様変わりする要素を持つて
いると思う。一方、この地域の
まちづくりを活性化させる上
で、若者が集まる東京外国語
大学の特性を活用することは
重要なことと考える。
そこで、多磨駅周辺のまち
づくりを進めるに当たって、
大規模商業施設の事業者であ
る株式会社イトーヨーカ堂と
同大学の連携・協力を促進す
るため、定期的に協議を行う
場を設定できないか。

結城 亮 議員(共産) 市北東
部を中心とした都市計画マス
タープランにおける第1地域
は、大型商業施設の建設が予
定されるなど、今後、大きく

市民活動センターを
活用してもらうための取組は
事業などを展開したい

市民活動団体の育成を図る

稲津 憲護 議員(リベ) 市民
活動センターが府中駅南口再
開発ビルに開設されることで、
今後、市民の協働に対する認
知度や意識が向上していくと
思うが、多くの方にセンター
を活用してもらうための取組
について聞きたい。
市民協働推進本部長 市民協
働や市民活動、コミュニティ
ビジネスの相談に対応できる
職員を配置するほか、講座等
を通じて、市民活動団体の育
成を図る事業などを展開した
いと考えている。

市の駐車施設における使用料
利用者負担割合を
100%とした理由は

利用する市民の選択性の有無などを
総合的に勘案したものである

目黒 重夫 議員(共産) 平成
26年5月に策定された「手数
料・使用料の見直しに関する
基本方針」に基づき、公共施
設の使用料に係る負担割合の
見直し案が提示されたが、そ
の中で、駐車施設使用料の利
用者負担割合を100%とし
た理由について聞きたい。
政策総務部長 各施設につい
て、担当部署の意見を確認す
るとともに、利用する市民の
選択性や民間における同様の
サービス提供の有無などを総
合的に勘案したものである。

再開発後の駐輪場対策について
設希望事業者の公募において
子ども・子育て支援計画の開
設予定件数よりも優れた提案
が多かった場合に、計画の見
直しを前向きに検討する考え
はないか。

認可保育所の開設事業者の公募で
優れた提案が多かった場合の
子ども・子育て支援計画の見直しは

待機児童解消に向けて取り組む中で
施設整備への対応も検討したい

赤野 秀一 議員(共産) 平成
28年9月に都が発表した待機
児童解消に向けた緊急対策に
おいて、保育所整備における
市区町村の負担軽減が拡充さ
れたが、緊急対策を積極的に
活用していく考えはないか。
子ども家庭部長 施設整備や
各保育施設の状態などにより
支援の必要度や仕方が異なっ
てくるため、状況を見極めた
上で活用していきたいと考え
ている。
議員 認可保育所における開



国土交通省公表の「洪水浸水想
定区域」と市の対応について

学童クラブにおいて
入会希望者の増で
受け入れが困難になる場合の対応は

小学校3年生までの
希望する児童全員の
受け入れに努めていく



▲学童クラブにて

西埜 真美 議員(ネット) 市内
小学校における今後の児童数
の推移について聞きたい。
また、児童数
の増加が顕著な
小学校は、
教育部長 児童
数の推移につい
て、都の教育人
口推計表では、
平成33年度の児
童数を28年度比
で464人の増
となる1万37

69人と見込んでいる。
また、増加が顕著な小学校
については、市内中心部で集
合住宅等の建設が続いている
ことから、第一小学校と第二
小学校が挙げられる。
議員 学童クラブについても、
児童数の増加により入会希望
者の増加が見込まれるが、既
存施設での受け入れが難しい
場合はどのように対応する考
えか。

スマートエネルギー都市の取組を
選択と集中の柱の一つにしては

柱の一つとするのは難しいが
選択と集中の考え方に合致している

杉村 康之 議員(民進) 地域
経済を活性化して歳入を増や
すことについて、市の考えは。
市長 歳入と歳出の両面から
行財政改革に取り組む必要が
あると考えており、地域経済
の活性化は、歳入確保の観点
から有益な視点であると捉え
ている。
議員 近年の歳出の増加額と
比較すると歳入確保策による
歳入の金額は桁が少ないと考
える。将来の歳入を増やすに
は何らかの種をまく必要があ
ると思うが、スマートエネル

校3年生までの希望する児童
全員の受け入れに努めていき
たい。
他 使用料に係る減免の考え方につ
いて
田村 智恵美 議員(ネット) 本
市では、障がいのある方など
へのサービスとして録音図書
を作成している。将来、国立
国会図書館への録音図書に関
するデータ提供を目指してい
くためにも、市立中央図書館
に防音設備のある録音室を確
保するなど、ボランティアが
行っている作成業務において、
防音対策の部屋や機器類が必
要と思うが、どのように作成
や編集を行っているのか。
また、録音図書や点字図書
の貸出しなどを実施している
とのことだが、通常の読書を
することが困難な方に対する
サービスについて、今後、ど
のように取り組む考えか。
文化スポーツ部長 録音図書
の編集に関して、マイク等の
貸出しは市が行っているが、
編集作業については、ほとん
どの方が自宅で持っている状
況である。
また、今後の取組に関して
は、現在実施している対面朗
読について、研修などの実施
により、ボランティアのスキ
ルアップを図っていききたい。

通常の読書をするのが
困難な方に対するサービスについて
どのように取り組む考えか

対面朗読を行うボランティアの
スキルアップを図りたい